



楽学両道



生徒のみなさんへ

● 修学旅行 ●

5月16日から2泊3日で3年生は京都・奈良・大阪方面を巡る修学旅行を実施しました。これまでのコロナの影響から、3年生にとっては中学校生活で初めての宿泊行事ということもあり、活動のイメージをもつことが難しかったと思います。そのため、3年生は個人や班で事前の取組を懸命に進めてきました。「楽学両道～古都に学ぶ私たちの未来～」というスローガンからは、「歴史や文化遺産をしっかり学ぶぞ」「みんなと楽しい思い出をたくさんつくろう」というような皆さんが達成したいこと、願いがよく伝わってきました。旅行中のさまざまな場面で、それらの目標を見事に実現した3年生の皆さんの姿から、充実した旅行になったこと、そして確かな成長につながったことが伺えます。

私の修学旅行の目標は、「生徒の皆さんや先生方のよさの発見」でした。この旅行は100名を超える集団行動ですので、静粛・整然と行動する必要があるため、努力や我慢をする場面がたくさんありました。そのような中、アクシデントやトラブル、怪我もなく概ね良い行動ができていたと思います。改善点も明らかになりました。



写真上・左：日本で最も古いお寺で、世界最古の木造建築（世界遺産）である奈良の法隆寺。樹齢1300年のひのきが使われ建物を支えています。釘を一切使わず木の組み合わせだけでこの美しい姿が保たれています。ガイドさんの説明を興味深く聞く皆さん。写真右：薬師寺では、お坊さんから有難いご講話をいただきました。

特に感心したのは、すれ違う旅行者に笑顔でお辞儀や挨拶をしたり、旅館や見学施設で働く人たちに「こんにちは」「お世話になります」「ありがとうございます」「お疲れさまです」と声をかけたりする皆さんの姿があったことです。この旅行を単なる「お客様」としてではなく、学習の場として参加していることの現れでしょう。また、体調がすぐれなかったり、足を悪くしていたりする仲間を気遣い、嫌な顔ひとつせずサポートする姿も印象的でした。この行事を「皆が気持ちよく過ごせるようにする」ための皆さんの思いやりを感じられた、発見できたと思っています。このような居心地のよい空間と時間を3年生の皆さんと過ごすことが出来たことを大変嬉しく思います。きっと3年生の皆さんも、「仲間のよさを発見」することができたのではないのでしょうか。





写真前頁下・左：世界最大の木造建築（世界遺産）である奈良の東大寺。大仏殿の建物と仏像の大きさに圧倒されました。写真中央：鹿がすぐに寄ってきます。服をかじられた人も… 写真右：金閣寺は朝の日差しに照らされて光り輝き、とても美しい姿を見ることができました。ただし人が多すぎてゆっくり見学ができない事態に。これも思い出です。



写真：清水寺も修学旅行の生徒や観光客でおおにぎわいです。清水坂は油断していると人に押し流されてしまうほど。31℃の暑さに負けることなく、みんな頑張ってお見学しました。



写真上段：東映太秦映画村では、実際に撮影で使用される江戸時代の街並みを見学することが出来ました。施設内にあるおけ屋敷は日本で2番目に怖いとか… 写真下段中央：大阪城の石垣一つ一つの大きさなど、スケールの大きさには驚きです。写真下段右：実行委員・班長の皆さんが中心となって旅行を運営し、よりよい取組にするため尽力しました。

3年生の先生方も、修学旅行を皆さんの中学校生活で最高の思い出にするために、これまで何回も話し合いを重ね、知恵を出し合いながらこの日を迎えました。旅行の間中も、皆さんに怪我などないよう、常に細心の注意を払い、行動したチームワークはさすがです。そのような熱意と創意工夫に感謝します。また、取組に賛同し、旅行の準備等、様々な面で支えていただきました保護者の皆様にも深くお礼申し上げます。ありがとうございました。